

三重県史

別編  
民俗

目次

口 絵  
序 例

序 章

三重の民俗―私たちの「暮らしぶり」…………… 3

(1) 民俗と三重の風土…………… 3

民俗ということ 三重の風土と民俗文化

(2) 編纂方針と本編の特色…………… 4

編纂方針について 「民俗編」の編纂の経緯 「民俗

編」の性格検討と編纂の方向性 「民俗編」編纂にお

ける課題 本書の特徴と「民俗編」の展望

(3) 民俗編の構成と内容…………… 7

「民俗編」の構成と地域区分 各章の内容と特色 (①第

一章 ②第二章 ③第三章 ④第四章 ⑤第五章 ⑥第六章 ⑦第七章

⑧第八章)

第一章 三重の民俗調査・研究のあゆみ

第一節 近世以前の民俗調査・研究…………… 13

地域へのまなざし 俳諧 紀行文 地誌・名所図会

年中行事への関心 国学者と民俗知識 民俗調査報告

への期待 諸国風俗問状答書 冠婚葬祭の記録 随

筆

〔特論①〕地誌の編纂…………… 22

地域的地誌 国単位の地誌 参宮案内記・道中記

〔特論②〕文人の活動と民俗へのまなざし…………… 28

〔特論③〕諸国風俗問状答書…………… 31

諸国風俗問状 「伊勢国白子領風俗問状答」と「松坂風

俗記」

第二節 近代の民俗調査・研究…………… 33

(1) 近代の諸調査と民俗資料…………… 33

近代形成期の国家・県行政調査 (①「全国民事慣例類集」 ②

「各郡習俗慣例取調書」 ③「地誌取調書」 近代社会問題の高

まりと生活調査

(2) 郷土への関心と民俗研究…………… 35

「風俗画報」の発刊と三重 郷土研究者の組織化と活動

(①史談会の設立 ②神宮皇学館史学会 ③(志摩)郷土史研究会)

郷土誌の編纂 (①郡史誌の編纂 ②市史の編纂) 郷土教育の

高まりから民俗研究へ (①三重県師範学校 ②三重県女子師範学校

③三重県立津高等女学校 ④尋常高等小学校による「郷土教育資料」の

作成)

(3) 日本民俗学の進展と三重…………… 41

柳田国男と三重県 中央の民俗学雑誌と三重県同人 (①

「郷土研究」の時代 ②「民族と歴史」から「民族」の時代 ③「旅と伝

説」の時代 ④「民間伝承」の時代 ⑤地方民俗学研究雑誌の発刊 ⑥

「日本風俗志」の刊行) アチック・ミュージアムと岩田準

一 全国規模の民俗調査 (①山村調査 ②海村調査 ③食習調

査 ④産育習俗調査) 研究者の来訪 原田敏明の調査研

究 調査研究活動の展開

第三節 現代の民俗調査・研究……………52

(1) 新たな郷土史の担い手と活動……………52

- 郷土会・地方研究会の活動〔①志摩郷土会 ②伊勢郷土会 ③伊賀盆地研究会 ④尾鷲郷土研究会〕 高等学校郷土クラブの活動〔①員弁高等学校・郷土研究部 ②桑名高等学校・地歴研究部 ③亀山高等学校・郷土研究会 ④神戸高等学校・郷土史研究クラブと方言研究会 ⑤津女子高等学校・社会研究クラブ ⑥宇治山田高等学校・地歴クラブ ⑦松阪高等学校・地理研究部と民俗同好会 ⑧名張高等学校・郷土研究部 ⑨大阪府立春日丘高等学校・郷土研究部〕

(2) 民俗調査・研究の発展……………55

- 伊勢民俗学会など民俗研究会の結成と活動〔①伊勢民俗学会 ②三重民俗研究会 ③三重県方言学会 ④名張民俗研究会 ⑤紀北民俗研究会〕 大学・大学関係者等によるグループ民俗調査〔①和歌森太郎調査団 ②皇学館大学 ③国学院大学・民俗学研究会 ④中京大学・郷土研究会 ⑤立教大学博物館学講座と県立博物館 ⑥中央大学・民俗研究会 ⑦関西大学・民俗学研究会 ⑧南山大学・文化人類学研究会 ⑨大谷大学・民俗学研究会 ⑩成城大学・民俗学研究会 ⑪三重大学〕 自治体史の編纂と「民俗」 三重県の民俗の形成 郷土誌の編纂と地元発信型「民俗」

(3) 県の事業と民俗調査……………66

- 水産業実態把握調査 国立、国定公園指定・拡張に伴う民俗調査〔①「吉野熊野・伊勢志摩両国立公園地域拡張調査」 ②「吉野熊野国立公園拡張区域（子定地）学術調査報告書」 ③「鈴鹿山地とその周縁地域歴史文化学術調査報告書」〕 ダム湖水没集落の民俗調査〔①「大杉谷・大台ヶ原山の自然」 ②「員弁郡藤原町旧地区歴史民族資料調査報告書」〕 県立博物館の活動 芸能・民話の記録化ほか

(4) 県による文化財保護行政と民俗調査・研究……………68

- 文化財保護法と文化財保護条例 民俗調査報告書と文化財指定〔①昭和二十年代後半から昭和三十年代前半 ②昭和三十年代後半 ③昭和四十年代 ④昭和五十年代 ⑤昭和六十年代から平成初年代 ⑥平成十年代以降〕

第二章 生活と生業

第一節 農村のくらし……………79

一 伊勢平野のくらし……………79

- (1) 伊勢平野の地形・風土……………79
  - 開けた伊勢平野
- (2) 機械化以前の稲作……………79
  - 水田耕作地の状況〔①乾田と湿田 ②二毛作田の利用状況〕
  - 農繁期 苗作り 田植え〔①本田の準備 ②田植えの時期 ③田植えの方法〕 除草作業 害虫駆除 肥料 稲刈り・乾燥・脱穀 志摩のあねさん
- (3) 二毛作と水田の多様な利用……………85
  - 麦類 菜種 畦畔栽培のアゼマメ 水田漁撈とコイの養魚
- (4) 伊勢平野の衣食住……………87
  - 仕事着〔①女性の仕事着 ②男性の仕事着〕 日常の食事 ハレの食事 大根と伊勢たくあん 伊勢湾や川の恵み 屋敷森 変化する農業

二 輪中のくらし……………90

- (1) 輪中集落の形成……………90
  - 輪中の形成 列状集落の形成 輪中地域の民家

水屋 水防活動

(2) 水を操る技術……………92

取水 排水

(3) 輪中の農業……………93

稲作中心の農業 菜種の裏作 養蚕と「流作地」利用

進む「乾田」化

三 伊賀盆地のくらし……………95

(1) 伊賀の地形・気候……………95

伊賀盆地と粘土層の地質 雨の少ない伊賀盆地

(2) 伊賀の生活圏……………95

伊賀の街道・鉄道 生活圏の拡大と伊賀盆地

(3) 伊賀の人々の衣食住……………96

伊賀地域の仕事着 伊賀の茶粥 伊賀の漬物 伊賀の玉味噌 伊賀の民家

(4) 製茶・養蚕と蕨加工等の生業……………99

伊賀茶と養蚕業 伊賀の蕨加工と山の手入れ

(5) 伊賀の稲作とその苦労……………100

常湿田の耕作と管理 早害対策と畦掘り作業 伊賀の牛馬と牛耕 籾種の塩水選と苗代作り 田植えと除草

作業 稲刈り・稲扱きと籾摺り

〔特論①〕農村の天気予知……………104

〔特論②〕北勢地域のマンボ……………121

マンボ 鈴鹿山脈東麓におけるマンボ分布の特徴 マンボの分類、形態と構造 北勢地域の代表的マンボ〔①

片樋マンボ（いなべ市大安町） ②岡山井水マンボ（いなべ市藤原町）

マンボ開削年代と掘削技術 マンボの呼称・表記と起源

マンボ祭りと民俗慣行〔①マンボ祭り ②マンボ年貢 ③マンボ凌

え

〔特論③〕養蚕業……………128

県内養蚕業の発達と衰退 養蚕作業とその苦心〔①蚕種の保護と催青 ②蚕種の掃立てと給桑・除沙 ③上簇から繭の出荷・殺蛹

④蚕室の整備と管理 ⑤桑園の拡大と手入れ〕 蚕期と地域的特色 養蚕に関する信仰

〔特論④〕川 漁……………135

アユの漁法 アユの食文化 アユにまつわる信仰

ウナギ漁 シラウオ漁

第二節 海村のくらし……………140

一 様々な海と漁……………140

(1) 北勢地区……………140

地曳網漁 貝採漁〔①ジョウレン ②貝巻き ③トリ貝マクワ

④バカ貝マクワ〕

(2) 中南勢地区……………141

手繰網漁 打瀬網漁 揚繰網漁 バッチ網漁

り養殖 エイの空釣り

(3) 度会郡外海地区……………143

四艘張網漁 ウツボ籠漁 ボラ敷網漁 エビフタセ

漁 イカ釣り漁

(4) 牟婁地区……………144

サンマ大網漁 ブリ大敷漁・定置網漁 カツオ一本釣り

り マグロ網漁 捕鯨〔①捕鯨の変遷 ②捕鯨法 ③鯨船〕

(5) 志摩地区……………147

ボラ桶漁 伊勢エビの刺網漁 コウナゴすくい

イ釣り タコ壺漁 海女漁 ワカメ・テングサ漁

ナマコ漁

二 海村の食文化……………156

海村の食文化の諸相〔①主要海産物とハレの食事 ②人々の交流と伝統料理〕 男料理と女料理〔①男料理 ②女料理〕 海村のすし料理〔①東紀州地域 ②志摩地域〕 海女のカマド料理 各地の珍味

三 海村の生業と技術・知識……………161

(1) 様々な生業形態……………161

伊勢湾沿岸地域 熊野灘沿岸地域 志摩半島地域〔①男性 ②女性〕

(2) 航海・漁業の経験と技術……………162

山あて 魚群探知

(3) 海村と風の知識……………163

風の呼称 天気予知と風 漁業と風〔①タロサメ突きと風 ②カツオ釣りと風 ③タイ釣りと風 ④サバ釣りと風 ⑤ボラ橋漁と風 ⑥海女漁と風 ⑦ナマコ漁と風 ⑧ワカメ漁と風 ⑨ノリ養殖と風〕 廻船と風 志摩沖の遭難と風

〔特論①〕海女の出稼ぎ……………171

志摩の出稼ぎの歴史 出稼ぎへの道のり 朝鮮半島への出稼ぎ 礼文・利尻の伊勢海女 伊豆への出稼ぎ

〔特論②〕熊野灘と赤須賀船……………174

赤須賀船 ナマブネ 熊野灘沿岸漁村の記録 魚類運搬船の動力化 魚類運搬船の種類 ナマブネで運んだ魚 ナマブネ大正丸 動力付チョコカイマル ナマブネの航行 コメブネ 熊野通いの行き先 桑名から運んだ物・熊野から運んできた物 赤須賀船の衰退

〔特論③〕波切の石工……………180

波切石工とその歴史 波切石工の技術〔①原料 ②道具 ③石の供給・運搬 ④石積みの種類〕 石工の技術習得

〔特論④〕ハシリガネ……………183

ハシリガネ ハシリガネの実態 ハシリガネの年季と稼ぎ ハシリガネの決まりごと ハシリガネの終焉 ハシリガネの歌

第三節 山村のくらし……………187

一 人と山のかかわり……………187

(1) 人と植物のかかわり……………187

焼畑と栽培作物 山村の稲作〔①棚田 ②湿田 ③藁の利用〕 山村の常食 野生植物の利用〔①フキ ②柿・栗・桃・ビワ ③松 ④アセビ ⑤柀 ⑥アケビ ⑦シユロ〕

(2) 人と動物のかかわり……………190

狩猟 獣害

(3) 新しい人と里山とのかかわり……………191

新しい「里づくり」

二 林業……………192

(1) 木を育てる……………192

地拵え 植林 下刈り 枝打ち 伐採 樹皮を剥ぐ 運材 立木売買 年山

(2) 林業の技術……………197

材積測定法 火災対策 獣害対策 働く人々……………198

林業で働く人々 専門集団〔①出し組 ②後師〕 女性

(4) 林業の信仰と俗信……………199

山の信仰 禁忌とまじない 天気予知

〔特論①〕木屋方集落のくらしと伝承……………201

木屋方集落 木地師集団の定着 木地師の生業〔①タ

マギリ ②割りコマ ③キドリ ④コツクリ ⑤テッペン削り ⑥ナカ

ウチ ⑦ウチグリ ⑧サメル ⑨柄作り ⑩完成・出荷〕 木屋方

集落の民俗行事〔①門松 ②正月の餅 ③惟喬親王の祭り ④山の

神〕 氏子駈(狩)と惟喬親王伝説

〔特論②〕イタダキ―頭上運搬習俗……………205

頭上運搬 県内の頭上運搬 イタダキとワ 熊野地

方に残ったイタダキ

〔特論③〕シバマキ―喫煙習俗……………208

シバマキ 文献に見る熊野のシバマキ 志摩のシバマ

キ 熊野市磯崎町に残ったシバマキ習俗

〔特論④〕ヤエン―運材技術……………210

木材の運搬とヤエン 尾鷲地方のヤエンとその技術

第四節 都市のくらし……………212

一 都市のくらし……………212

(1) 城下町のくらし……………212

町人の生活と藩の規制 藩による商工業政策 商工業  
の構成と株の存在 特産品の生産と育成 伊勢商人の  
台頭と全国的な活躍

(2) 門前町のくらし……………215

町人の自治組織と山田奉行 式年遷宮と神領民の奉仕活  
動 伊勢御師と参拝客 土産物商工業の発展と特産品

(3) 宿場町のくらし……………216

幕府と藩による二重の生活規制 幕府と藩による宿駅・  
助郷制度 「往還稼」を基本とした産業の発展

(4) 港町のくらし……………218

幕府と藩による二重の生活規制 藩による海運業政策と  
港町の発展 廻船と船宿の密接なかわり

(5) 都市のくらしの近代化と変容……………219

二 職人の世界……………220

(1) 職人と民俗研究……………220

職人の種類 民俗誌の中の職人〔①素材別 ②作業空間別〕  
「職人」の生き方……………222

徒弟制度と年季奉公〔①弟子入りと契約 ②修業生活 ③徒弟学校  
の登場〕 信仰 禁忌 消える職人・生まれる職人

三 市と行商……………226

(1) 市……………226

県内の市 北勢地域の市〔①四日市・桑名周辺の定期市群 ②  
香取市 ③その他の市〕 中勢地域の市〔①松阪周辺の大市群

②愛宕市 ③中万市 ④その他の市〕 他地域の市

(2) 行商……………230

行商に頼る 行商に出る

第三章 人の一生……………237

第一節 妊娠・出産……………237

一 妊娠・出産の儀礼と習俗……………237

(1) 妊娠から出産までの儀礼と習俗……………237

子授け祈願 帯祝いと「五月参宮」 安産祈願 妊  
娠中の禁忌と俗信 臨月の儀礼と祝い 出産の場所  
分娩 産神 産屋

(2) 産後の儀礼と習俗……………	242
産後の食べ物 胞衣・産湯・臍の緒の処理〔①胞衣 ②産湯 ③臍の緒〕 乳付け・乳祈願〔①乳付け ②乳祈願〕	
生後七日目前後の儀礼〔①産の忌明け ②産毛剃り ③名付け祝い〕 産着 一〇〇日目前後の儀礼〔①宮参り ②食初め〕	
双子 捨て子 病気療法〔①麻疹 ②夜泣き〕	
二 出産をめぐる人と地域社会……………	252
「産婆」と腰抱〔①産婆 ②腰抱〕 夫のかかわり 実家と婚家〔①実母と姑 ②実家と婚家〕 ムラの女性と子ども	
第二節 子どもの成長と子育て……………	257
一 成長期の諸儀礼……………	257
(1) 満一歳前後の儀礼……………	257
初誕生 初節句 初正月	
(2) 三歳から七歳までの儀礼……………	258
七五三 帯とき・紐落とし 三つ椀 袴着 その他の儀礼	
二 子育て……………	260
(1) 子守……………	260
ヨサ マキブトン 子どもの子守	
(2) 子育てと家・地域社会……………	261
下級武士の子育て 海女の子育て	
三 子どもの遊び……………	263
近世期の遊び 自然環境を生かした遊び〔①海村の遊び ②山村の遊び ③川の遊び〕 地域産業を投影した遊び	
地域文化を反映した遊び 年中行事と遊び	
四 成年儀礼……………	265
(1) 男性の成年儀礼……………	265
元服 ヒタイトリ オバフンドシ 十三参り・山上参り・伊勢参宮 模擬婚儀 衰退・変容	
(2) 女性の成年儀礼……………	267
鉄漿付け 眉剃り・結髪 腰巻きの着用 模擬婚儀 衰退・変容 月経	
五 異性との出会い……………	270
若者組がかかわる出会い 寢宿仲間がかかわる出会い 個人間の出会いとヨバイ	
第三節 婚姻……………	273
一 婚姻の儀礼と習俗……………	273
(1) 結納までの儀礼と習俗……………	273
結婚年齢 配偶者の選択基準と通婚圏 仲人 見合 い 袂酒と樽入れ アシイレ 結納	
(2) 婚礼の儀礼と習俗……………	277
婚礼の時期 嫁迎え 出立ち 嫁入り行列 嫁入り道具送り 中宿 婚家入り 祝言(三三九度) 披露宴 近隣への披露と挨拶回り 里帰り	
(3) 婚姻儀礼の変容……………	283
饗応・贈答の制限と廃止 神社や公民館での結婚	
二 婚姻をめぐるイエと地域社会……………	285
(1) 婚家・姑と嫁……………	285
嫁の立場 主婦権	
(2) 婚姻儀礼をめぐる親族……………	286



いろいろな「女郎」(①添え女郎・送り女郎 ②待ち女郎・迎え女郎) オチヨウ・メチヨウ

(3) 婚姻と地域社会……………287

ムコザケリヨウ・ムコゴメリヨウ ムラの祝福と承認のかたち(①ヨメタタキ ②ムコイジメ ③ムラの若者と婚姻)

第四節 年祝いと厄祓い……………290

(1) 「厄年」の年齢をめぐる習俗……………291

結婚に関する意味付け 「厄年」とは違う「役年」

(2) 寺社参詣による厄落とし……………292

長寿を祝い、厄を祝う……………293

盛大な振舞い 祝いの変遷

(4) 年祝いをめぐるその他の習俗……………295

子どもをめぐる習俗 積極的な意味付け 新たな民俗

(敬老会)

〔特論〕老人の位置……………298

鳥羽市神島町の事例 名張市黒田の事例 還暦と隠居

老人の位置付け

第五節 病 気……………302

一 病気と民間療法……………302

(1) 病 気……………302

病気の原因と対策 医療者 病気と地域社会

(2) 民間療法……………303

ものもらい 眼病 いぼ 百日咳 かんの虫

歯痛(虫歯)

二 流行病……………309

流行病 疱瘡と疱瘡神 疱瘡送り 小屋掛け 禁

忌 祈願 祈祷 疱瘡見舞と祝い

〔特論〕家畜の民間療法……………313

牛馬の病理観 大日如来信仰 馬頭観音信仰ほか

第六節 葬 送……………315

一 葬送の儀礼と習俗……………315

(1) 納棺までの儀礼と習俗……………315

末期の水 死者の安置(①枕経 ②枕飯・枕団子 ③枕刀 ④逆さ屏風 ⑤ノブツサン) 葬式組 死亡通知 ミミフ

サギ 香典 通夜 湯灌 着物縫いと死者の装束

納棺

(2) 出棺から埋火葬までの儀礼と習俗……………319

出棺(①ヒジ(非時)・トキ(斎) ②鳥羽のカワラメシ ③棺を出す作法とムシロタタキ ④カドビ ⑤その他の習俗) 野辺送り(①

葬列を先導する女性 ②ゼンノツナ ③泣手ぬぐい ④花籠 ⑤三角形の紙を頭や膝に付ける ⑥その他の習俗) 葬法(①土葬 ②火葬)

葬儀帰りの習俗 骨上げ・骨拾い・灰葬と納骨 アサ

ダマイリ・タケマイリ・那智参り 着物洗い 巫女の

口寄せ

忌明け・弔い上げまでの儀礼と習俗……………325

中陰 初七日 忌明け(四十九日・三十五日) 四

十九の餅 百か日から年忌・弔い上げ イレボウシヤ

二 神 葬 祭……………328

県内の神葬祭地域とその研究 明治初年の神葬祭化

大教宣布運動と神葬祭化 神葬祭儀式と葬儀習俗



第七節 墓制……………334

一 三重県の墓制……………334

墓制研究の着眼点 両墓制の扱いと墓地の分類 傾向

二 北中勢の墓制……………339

(1) 北勢の墓制……………339

浄土真宗の火葬文化

(2) 中勢の墓制……………340

浄土真宗の火葬文化 両墓制文化 埋葬墓地 石塔

墓地

三 南勢の墓制……………343

伊勢市・玉城町の墓制 度会町・大紀町の墓制 南伊勢町の墓制

四 志摩の墓制……………346

墓地の区画 石塔を持つ墓と持たない墓(①石塔を建てる場合 ②石塔を建てない場合) 地形や生活環境の影響

五 伊賀の墓制……………350

両墓制 複数の埋葬墓地 複数の石塔墓地 無足人の墓 墓制の変化

六 東紀州の墓制……………353

尾鷲市・熊野市の墓制(①墓上設置物 ②火葬施設 ③ハカヨセ) 紀北町の墓制 御浜町の墓制 紀宝町の墓制

第四章 年中行事

第一節 北勢の年中行事……………359

(1) 暮れの行事……………359

煤払い 餅つき 門松・注連縄 清め砂 大晦日  
年越参り

(2) 正月の行事……………361

初水・若水 神酒・屠蘇 雑煮 禁忌 仕事始め  
初売り・初荷 鏡開き 寺の年頭 七日正月・七草  
山の神・ドンド 小正月・十五日正月

(3) 盆までの行事……………366

節季 合せの一日・重ねの正月 節分 初午 御  
歛祭 粥試し 涅槃会 桃の節句・雛祭り 彼岸  
花祭り・灌仏会 海山道稲荷 春祭り 多度祭り  
端午の節句 サビラキ・田植え サナボリ・田植えじ  
まい 野上がり 桑名の石取祭 七夕 本やすみ  
よ

(4) 盆の行事……………372

七日盆 お盆 節呼び・藪入 お中元・セイボウ  
盆節季 夏祭り① 土用・土用三郎 虫送り・イモ  
チ ついたち盆 夏祭り② 地藏盆

(5) 暮れまでの行事……………375

八朔 二十十日・二百二十日 芋名月・月見泥棒  
豆名月 四日市祭 秋祭り エビス講 十一月三  
日 七五三 しまい休み 亥の子 新嘗祭 報  
恩講 成道会・成道忌 大師講 冬至 歳末市  
お歳暮 節季

第二節 中勢の年中行事……………382

(1) 暮れの行事……………382

事始め 餅つき 注連縄 門松 清め砂 大晦

日

(2) 正月の行事……………385

改暦と正月 若水と朝男 福茶・菌固め 屠蘇  
 雑煮 年始回り・年頭回り 仕事始め 門付・祝福  
 芸 六日年越・七日正月 ドンド・山の神・ぜん  
 綱・カギヒキ 七草 蔵開き・鏡開き 十四日  
 年越・十五日正月・小正月①ドンド ②小豆粥・粥試し ③成木  
 煮 藪入 初エビス・二十日正月

(3) 盆までの行事……………394

初愛宕 二月正月 節分 ヨイヨイ神事 涅槃  
 会・オコロマキ 初午 雛祭り・桃の節句 彼岸  
 社日 春参宮 灌仏会・卯月八日 端午の節句・菖  
 蒲の節句 サビラキ サナボリ 野上がり 浜参  
 宮・浜行き 浅間さん・浅間祭り 七夕 虫送り  
 祇園祭・天王祭 土用

(4) 盆の行事……………403

七日盆 初盆 お盆 施餓鬼会 盆芸能 地藏  
 盆 会式 大日さん

(5) 暮れまでの行事……………406

八朔・野明け 芋名月 野分日待・会式 秋祭り  
 豆名月・栗名月 亥の子・トオカンヤ まきあげ日待  
 ソロヒキ エビス講 二十三夜 モノトウ 山の  
 神・ドンド 猫も三文 冬至 報恩講・お取越し

第三節 南勢の年中行事……………413

(1) 暮れの行事……………413

猫も三文 念仏納め 位牌まくり 煤払い 正月

迎えの準備①注連縄 ②門松 ③オニサンギ ④懸けの魚  
 餅つき 大晦日 豆まき

(2) 正月の行事……………415

若水 仕事始め 竈方祭 六日年越・七日正月・七  
 草 船越の無言祭 ギッチョ祭 初子 山の神  
 ①古和浦の山の神祭 ②方座浦の山の神祭 ③水会の山の神祭  
 大般若経 帳とじ 八幡祭と弓射行事①古和浦の十日  
 頭(八幡祭) ②錦の十日日祭(八幡祭) ③船越の射礼 獅子  
 舞①御頭神事 ②箕獅子舞 岳参り ドンド・十五日  
 正月 念仏始め 二十日正月 寒餅

(3) 盆までの行事……………422

節分 初午 桃の節句 金比羅祭 彼岸 花祭  
 り・灌仏会・卯月八日 春参宮 端午の節句・菖蒲の  
 節句 田の神祭り 菌固め サビラキ サナボリ  
 野上がり 浅間祭 金剛証寺開山忌 七夕 世義  
 寺参り オイヤレ祭・虫送り 祇園・天王祭礼

(4) 盆の行事……………427

七日盆 迎え火 泉の火振り 墓参 施餓鬼  
 大念仏 かんこ踊り・盆踊り 送り火・精霊送り  
 二十日盆・地藏盆・ウラ盆

(5) 暮れまでの行事……………430

八朔 芋名月・豆名月 亥の子祭 ジンジ①古和浦  
 のカスギ祭 ②方座浦のジンジ ③相賀浦のジンジ(頭屋祭) 山  
 の神 お十夜・お取越し 冬至

第四節 志摩の年中行事……………434

(1) 暮れの行事……………434

事納め〔①ヤリマシヨ舟 ②猫も三文〕 正月始め〔①煤払い・火替え ②湯立て・札書きの神事〕 正月飾りの準備 餅つき 正月飾りの飾り付け〔①大戸の注連縄飾り ②エビス棚・神棚飾り ③窓・勝手口・納屋・台所飾り ④井戸神飾り ⑤屋敷神飾り ⑥門飾り（門松）〕 豆まき・アラクサ 年越の火祭り行事〔①名のり・注連縄切り・火祭り ②トトツリヤイ ③ネギタキ ④歳祭り〕

(2) 正月の行事……………441

若水汲み 初詣で 年礼 三棚神事 翁祭 仕事始め 帳とじ・水主がため 七草 山の神・オタイさん 大般若祈禱 氏神の祭礼〔①ゲーター祭 ②弓引き ③獅子舞 ④安乗のシメハヤシ〕 正月納めの行事〔①国崎のノット正月 ②浜島の初恵比寿・初笑い〕

(3) 盆までの行事……………446

青峯参り 節分 初午 カズキオリ 桃の節句 石経おらし 歙形祭 花祭り・甘茶 春祭り 菖蒲の節句・幟立て 御湯立行事 富士講 大王島の瀬祈禱 タケマイリ 赤崎祭 御田植祭 大鳥祭 しろんご祭 天王祭 亥祭

(4) 盆の行事……………448

七日日・七日盆 施餓鬼・大念仏 盆踊り 精霊送り オイヤレ

(5) 暮れまでの行事……………451

わらし曳き 十五夜 安乗の人形芝居 二十三夜 山の神 エビス講 二船祭 ミトトリ フタエトリ 冬至

第五節 伊賀の年中行事……………454

(1) 暮れの行事……………454

猫も三文 正月始め 餅つき 正月飾り〔①松飾り ②注連飾り〕 年越鯛 白砂まき フクマル

(2) 正月の行事……………456

若水汲み 拝み膳 正月料理 初詣で 仕事始め 山の神のカギヒキ 七草粥 ドンド 蚊の口焼き 小豆粥 年占 正月の終わり ミトマツリ

(3) 盆までの行事……………460

勸請縄 オコナイ 弓引き行事 大般若 火のもん断ち 三夜待ち・六夜待ち 二正月 節分 初午 センギョ 初エビス ダダオシ 三月節句 松明調進行事 種揃え ミトマツリ 春の彼岸 花祭り オツキヨウカ 春祭り 五月節句 菌固め サビラキ サナブリ 田植祭 農休み 虫送り 半夏生 七夕 夏祭り 精進入り

(4) 盆の行事……………466

施餓鬼 初盆 精霊迎え 盆供養 精霊送り 地藏盆

(5) 暮れまでの行事……………468

八朔 二十十日 名月 稲刈り 十夜 秋祭り 亥の子 山の神（山の口） 冬至

第六節 東紀州の年中行事……………471

(1) 暮れの行事……………471

煤払い 正月迎えの準備〔①材料の調達 ②注連縄 ③門松〕 餅つき 大晦日〔①年越 ②年神迎え ③お供え物 ④親の膳〕

(2) 正月の行事……………474

若水汲み 雑煮 仕事始め 七日正月・七草粥

山の神 初葉師 正月十五日(①小豆粥 ②成木責 ③石

経) 正月祭礼 エビス講 初愛宕・地藏さんの祭

り 不動さんの祭り

(3) 盆までの行事……………476

節分・年越 初午 涅槃会 三月節句 春彼岸

卯月八日・春祭り 五月節句 田植え・ノウダテ

サナブリ ウシアゲ 浅間さん 六月一夜 天王

祭り 虫送り 半夏生 雨乞い 土用

(4) 盆の行事……………479

七夕 七日盆 精霊迎え(①盆の始まり ②精霊棚 ③餓鬼

棚) 迎え火 墓参り 施餓鬼 盆踊り 精霊

送り・送り盆 ヒヤクハツタイ 柱松 盆の十六日

二十日盆 地藏盆

(5) 暮れまでの行事……………484

八朔 二百十日 九月節句 名月 カリカケ・カ

リカケサマ カマオサメ 秋祭り 亥の子 山の

神 エビス講 二十三夜

## 第五章 祭り・行事と芸能

第一節 広がりを持つ祭り・行事……………491

一 山の神信仰と祭り……………491

近世の記録に見える山の神 山の神信仰の研究 山と

山の神の概念 祭日・儀礼 山の神の表象

二 弓射行事……………493

(1) 県内の弓射行事……………493

弓射行事とその研究 弓射行事の特徴

(2) 県中南部の弓射行事……………495

八幡神・八王子社の祭礼と弓射行事 トウヤ祭祀と弓射

行事 中勢地域の弓射行事(①津市 ②大台町 ③松阪市)

南勢地域の弓射行事(①伊勢市 ②南伊勢町 ③大紀町) 志

摩地域の弓射行事(①鳥羽市 ②志摩市) 東紀州地域の弓

射行事(①紀北町 ②尾鷲市 ③熊野市 ④御浜町 ⑤紀宝町)

(3) 伊賀地方の弓射行事……………504

伊賀市地域の弓射行事 名張市地域の弓射行事

三 獅子舞行事……………506

(1) 鈴鹿地方の獅子舞……………507

村を越えて回壇する獅子 伊奈富神社の獅子舞 広い

回壇圏 獅子舞芸能の伝播

(2) 南勢地方の獅子舞……………511

御頭神事の分布・現状 歴史と伝承 組織 次第と

意味

(3) 伊賀地方の獅子舞……………514

敢国神社の獅子舞 舞の特徴と種類(①広前 ②四方神楽

③五段神楽 ④剣の舞 ⑤獅子踊 ⑥鼻高 ⑦小竹の舞 ⑧荒獅子 ⑨

背つき) 各地域の獅子神楽

四 祇園・津島信仰と祭り……………519

県内の祇園社・天王社の分布 社名と祭神表記 祇園

祭・天王祭の呼称と分布 津島講と代参 津島御師

伊勢・志摩地域の祇園・天王祭(①山車・ダンジリと巡行 ②船

ダンジリ・海上渡御 ③祭礼と余興 ④テンノウ迎え・テンノウ送り)

五 都市祭礼……………527

東海地方の都市祭礼と風流	桑名の石取祭	四日市祭
白子の勝速日神社祭礼	津八幡宮祭礼	関の曳山
上野天神祭	尾鷲神社の祭礼(ヤーヤ祭り)	
<b>六 念仏行事</b> .....		541
報恩講の伝承	念仏講の諸相	(①葬儀と念仏 ②百万遍念仏)
大念仏とその展開		
<b>七 雨乞い</b> .....		548
「集落内の神社など」の雨乞い	「水辺」の雨乞い	
「山」の雨乞い	(①伊賀地域の龍王山 ②野登寺の雨壺 ③錫杖ヶ岳	
④浅間山の雨乞い)	「霊地」の雨乞い	(①多度大社 ②片山神
社 ③新大仏寺)	規模を増す雨乞い	(①小願 ②大願)
雨乞いの消滅と芸能化		
<b>八 浅間信仰と行事</b> .....		556
(1) 三重の浅間信仰について.....		556
信仰の広がりと呼称	信仰の重層性	
(2) 信仰・行事の諸相.....		557
ムラの「浅間山」	行事・祭りの日	浅間信仰の講と
社祠	行と祈願	(①垢離取り ②浅間さんの竹(オハケ))
唱文	行者の装束・法具	富士山の登拝
踊り	道中歌と	
〔特論①〕伊賀の山の神信仰とカギヒキ神事.....		564
伊賀の山の神	カギヒキ神事	
〔特論②〕伊賀の祇園祭.....		567
伊賀の祇園花行事	祇園祭の分布状況	祇園祭の由来
と信仰		
〔特論③〕石取祭の広がり.....		571
石取祭と祭車	石取祭車の分布	石取祭の受容とその
背景		
<b>第二節 祭りの要素と諸相</b> .....		575
一 トウヤ・宮座.....		575
(1) 県南部のトウヤ.....		575
トウヤの呼称	子どもトウニン	トウヤの選出
トウヤの清浄性	トウヤの期間と神主	トウヤの象徴
神霊の奉斎	トウヤ賄い	トウヤの諸相
①宮座とトウヤ	②結果・ケイ衆	③トウヤ祭礼の祭場)
④トウヤ祭礼の諸相	⑤正月のトウヤ祭礼	⑥秋から年末にかけてのトウヤ祭礼)
⑦現代		
のトウヤ組織		
(2) 伊賀のトウヤ.....		582
トウヤ祭礼の諸相	(①春日神社長屋座の祭り(伊賀市川東)	②倉
部天神祭(伊賀市柘植町倉部)	③宮オコナイ(伊賀市横山)	④旧木
生神社例祭(伊賀市西山)	⑤阿波神社秋祭(伊賀市下阿波)	⑥正月
堂修正会(伊賀市鳥ヶ原)	⑦比自岐神社秋祭(伊賀市比自岐)	⑧大
村神社例祭(伊賀市阿保)	⑨宇流富志祿神社秋祭(名張市平尾)	⑩
八幡神社若子祭(名張市滝之原)	⑪勝手神社秋祭(名張市黒田)	
トウヤの諸相	(①中世宮座の伝承 ②座の祭りの拡大 ③重層的なトウヤ組織の展開	④若子祭 ⑤神社合祀と名張の外氏子
⑥座拝のしき	⑦種子の継承	⑧講のトウヤ行事)
二 オコナイ行事.....		592
津市観音寺の鬼押さえ	鳥ヶ原正月堂の修正会	(①由来等
②修正会を支える人々	③「節句之頭」行事	④正月堂のオコナイ)
県内各地のオコナイ	(①伊賀各地のオコナイ	②四日市市生桑長松
神社の鏡餅神事)		
三 海女の祭り.....		598

(1) 漁始めの祭り……………598

仕事始め カズキオリ

(2) 初夏の祭り……………599

ゴクアゲ 潮かけ祭 浜祭と小島祭 しろんご祭

小築海祭 御潜神事

四 競漕の祭り……………603

二木鳥祭 二船祭

五 御田植祭……………606

(1) 伊雑宮の御田植祭「磯部の御神田」……………606

伊雑宮 御神田の歴史 御料田の変遷 御田植祭の

役人〔①太鼓打ち ②ササラスリ ③大鼓・小鼓 ④笛 ⑤謡 ⑥エブ

リサシ ⑦田道人(立人) ⑧早乙女 ⑨警護 ⑩師匠 ⑪作長〕

当日までの準備 祭りの当日

(2) 伊勢の御田植祭……………611

内宮神田の御田植 明治以後 現在の二つの祭り

神田での所作〔①団扇合わせ・団扇角力 ②行司取り〕 神社境

内での所作〔①祝入り・踊込み ②ホコリ ③船漕 ④どう舞・踏舞

⑤ホコリ ⑥吹き納め・秘曲 ⑦団扇破り〕 神宮神田の御田植

初〔①準備など ②神田での行事 ③大土御祖神社での行事〕 猿

田彦神社の御田祭〔①準備など ②本殿祭と神田祭 ③豊年踊〕

〔特論①〕 定期的造宮と遷宮……………619

伊勢地域における発生時期と契機 名張市における発生

時期と特徴 祭礼語彙による社会言語学的調査〔①調査概

要 ②調査結果 ③地理的分布の考察〕 呼称の考察

〔特論②〕 鯨船行事の成立と民俗的背景……………623

鯨船行事の分布と実態 鯨船行事の構成要素〔①オドリコ

とその周辺 ②鯨船山車と関船(御座船) 関船と鯨突き

鯨突きの民俗的意義

〔特論③〕 祭り・行事と生きもの……………630

祭り・行事と鯨〔①大白祭 ②ハラソ祭〕 祭り・行事と牛

馬〔①祭り・行事と牛 ②祭り・行事と馬〕 上げ馬神事〔①多

度大社の上げ馬神事 ②猪名部神社の上げ馬神事〕

第三節 芸 能……………637

一 伊勢大神楽……………637

伊勢大神楽〔①鈴の舞 ②四方の舞 ③跳びの舞 ④扇の舞 ⑤綾採

の曲 ⑥水の曲 ⑦吉野舞 ⑧手毬の曲 ⑨傘の曲 ⑩楽々の舞 ⑪剣

の舞 ⑫献灯の曲 ⑬神来舞 ⑭玉獅子の曲 ⑮剣三番叟 ⑯魁曲〕

本拠地・伝承地 太夫家の変遷 伊勢大神楽の一年

縁起と信仰 回壇と檀那場の村落

二 かんこ踊り……………643

かんこ踊りの分布 かんこ踊りの三つの流れ〔①雨乞系の

踊り ②盆行事系の踊り ③祇園祭系の踊り〕 かんこ踊りの芸

態 ジンヤク踊りの伝承

三 盆 踊 り……………650

(1) 盆踊りの歴史……………650

盆踊りの諸相 盆踊りの変容 盆踊りの復興

(2) 現在の盆踊り……………652

大念仏と結び付いた盆踊り 会式踊りとかんこ踊り

(3) 盆踊りの形態……………652

群行型と輪踊り型 音頭〔①伊勢音頭 ②松阪しょんがい音頭

③江州音頭〕 盆踊り歌 踊りの所作

四 伊勢音頭……………655

伊勢音頭の種類と起源 正調の成立



五 地芝居と能・狂言

(1) 地芝居

北勢・中勢 南勢以南(①伊勢 ②明和町・玉城町 ③鳥羽・志摩地域 ④その他の地域)

(2) 能・狂言

伊勢三座と一色能・通能 賀多神社の薪能 馬瀬の狂言

第六章 社 会

第一節 イ エ

一 イエと親族

(1) 家族の家

統計に見る家族構成 イエと親族をめぐる民俗調査の記録 『三重の文化伝承』による網羅的記録

(2) だれが家を継ぐのか(相続継承と分家)

長男の場合(襲名と祖名継承) 長男以外の場合(末子相続と選定相続) 家を継承する子どもがいない場合 相続後の家族の形態(分家・隠居分家・分住隠居)(①分家 ②隠居分家)

(3) 同族と親類

「親族」を表す言葉 分家集団の組織と機能 葬儀と交際

(4) イエと親族をめぐる民俗と社会変容

宇治橋渡初式とイエの継承 拡散していくイットウ

二 擬制的親子関係

(1) 出生時の擬制的親子関係

乳付け親 名付け親 拾い親

(2) 成年後の擬制的親子関係

烏帽子親と烏帽子子 親取り子取り慣行(①松尾地区 ②岩倉地区 ③白木地区) カネツケオヤとカネツケゴ 宿親と宿子 仲人親 その他のオヤコ関係

〔特論①〕二つの隠居制—家隠居と村隠居 二つの隠居制 国府の家隠居 神島の村隠居 「天国」の再考

〔特論②〕由緒の言説とその変容 近世における由緒 家康Ⅱ権現様との由緒 地士・無足人の由緒

第二節 ムラとマチ

一 ムラ・マチ社会

(1) ムラ社会

ムラの内部構造 村入り 家格 ムラの共有財産と株 寄合 ムラの制裁(村八分) 共同作業(デアイ) 相互扶助(ユイ・テツタイ) ムラの連帯

(2) マチ社会

マチの構造 町入り 共同作業と相互扶助 近世四日市町のマチ社会

二 年齢集団① 子ども集団(子供組)

「子ども」という存在 年中行事と子ども(①山の神行事 ②ドンド行事 ③亥の子行事) 子ども行事の規制 子供組 農耕儀礼と子ども 通過儀礼と子ども



三 年齢集団② 若者組……………712

(1) 県内の若者組研究……………712

歴史学的アプローチ 民俗学的アプローチ

(2) 若者組の組織と活動……………712

結成基盤 呼称 加入・脱退 内部階梯 若者宿

活動 若者条目と制裁 婚姻との関係 資産 若

者組の取締り 青年会(団)へ

四 年齢集団③ 娘組……………718

娘組と娘宿 組織と機能 娘組の消滅 石女子祭と

アネラ

五 年齢集団④ 中老・年寄組……………721

(1) 男 性……………721

中老 年寄組

(2) 女 性……………724

念仏講と念仏仲間ほか

〔特論①〕集会所の呼称……………726

〔特論②〕ムラ・マチの境……………729

坂の境 道の境(勸請縄) 山の境(山の神) 祭

礼の境 街道の境 海の境

〔特論③〕寝宿慣行……………735

寝宿の起源 寝宿に入る 宿親宿子関係・ホーバイ関

係 寝宿の変容 寝宿の消滅 現存する答志地区の

寝宿慣行

〔特論④〕年齢階梯的秩序……………740

鳥羽市松尾町の年齢階梯的秩序 鳥羽市国崎町の年齢階

梯的秩序 国崎における年齢集団の役割

第三節 社会の変化と民俗の変容……………744

民俗の変容とは何か 県内の変容をとらえた先行研究

〔①山村における民俗の変容 ②海村における民俗の変容〕 県内

の変容をとらえる視座の提案〔①民俗調査 ②村おこし・町おこ

し ③情報化社会 ④商業化 ⑤文化財行政 ⑥学校教育と民俗 ⑦技

術革新 ⑧改暦・祝日法 ⑨死・葬儀 ⑩組織 ⑪地方改良運動と神社

整理 ⑫意識・信仰〕 民俗の変容をとらえる今後の課題

〔特論①〕まつり博開催と民俗行事への影響……………751

民俗学のイベント研究 まつり博の概要 市町村

デー・市町村参加イベント 民俗行事にもたらした影響

まつり博後の影響

〔特論②〕丸山千枚田・「復田」への取組み……………754

日本の棚田 丸山千枚田 荒れる千枚田 「復田」

への取組み 新たな課題

〔特論③〕歴史的町並みの喪失と保全再生……………757

近代以降の歴史的町並みの変容と喪失 歴史的町並みの

保全再生制度の制定と三重県における取組み 歴史的町

並みの開発と保全の論争―公共事業と町並みの喪失 三

重県における町並み調査の実施状況〔①亀山市 ②伊勢市 ③

松阪市 ④津市 ⑤伊賀市〕 関連調査の実施状況 町並

み保全再生への取組みの三〇年間を振り返って〔①町並み調

査の実施状況と成果 ②町並み保全再生の課題と展望〕

〔特論④〕文化財行政に見る民俗の変容……………765

文化財行政とは何か 文化財行政をめぐる先行研究

分析対象の概要及び分析方法 分析結果〔①目次構成 ②

機構及び職員配置 ③予算 ④教育重点施策 ⑤文化財指定 ⑥出版物

考察 文化財行政に見る民俗の変容の課題

目 第一節 伊勢信仰……………777

一 伊勢神宮と伊勢信仰……………777

伊勢神宮 私幣の禁 役夫工米の制 御厨と神明社

御厨の大日堂 種生の大般若経 神宮と仏教

二 伊勢信仰と御師……………781

御師の活動 御師の語源 飛神明 伊勢講の成立

在地における御師 御師の生活(①久保倉道三(藤三) ②

武士たちの祈願) 伊勢踊り 御鞆祭り

三 近代以降の「神宮大麻」……………785

明治初年の神宮改革と御師の廃止 神宮司庁・神宮神部

署の配札と神宮大麻 県内における明治初期の大麻頒布

の実例 神宮大麻の名称と大麻の種別 神宮暦 神

宮大麻の配札方法変更時期の民俗騒動 御師廃止にかか

る諸意見 神宮大麻の頒布と旧檀家との関係 神宮大

麻の偽造等の問題

四 山田・宇治の都市空間と触穢……………795

都市の触穢 都市山田・宇治の成立と発展 山田・宇

治の都市空間 速懸・焼死の穢 触穢の決定 触穢

の影響と回避の作法

〔特論①〕伊勢神宮と民間習俗……………805

民間習俗現象の範疇 神宮と民間習俗の研究 伊勢神

宮の鎮座地とその地域 聖域とかわる習俗 神宮の

恒例祭儀と市中・在地の習俗 都市の聖性と神宮 神

宮の別宮・撰末社の「礼典」 旧神領地の習俗 人生

儀礼・地域の祭り行事・年中行事と神宮

〔特論②〕式年遷宮とお木曳き・白石持ち……………812

神宮式年遷宮 お木曳きの種類(①御樋代木奉曳式 ②御木

曳初式(役木曳き) ③御木曳行事(一般曳き) お木曳きを担

う体制の変遷 奉曳団・奉献団 奉曳の実際 陸曳

き(①水揚げ・水切り・ドンデン ②積込み・荷締め ③奉曳車 ④行

列と曳引 ⑤エンヤ曳き) 川曳き(①荷締め ②ソリ ③行列と

曳引) 木遣り 前後の行事(①浜参宮 ②上がり参宮 ③

上せ車 ④帰り車) 白石持ち 県内の類似行事

第二節 熊野信仰……………822

一 熊野信仰の諸相……………822

(1) 熊野信仰の広がり……………822

熊野信仰 熊野権現の勧請 県内熊野社の分布(①北

勢 ②中勢 ③志摩 ④伊賀 ⑤南勢・東紀州) 飛鳥神社の分

布 祭神からの視点 王子の分布 熊野比丘尼伝承

と曼荼羅

(2) 熊野信仰と人々の営み……………827

年中行事 産育儀礼 葬送儀礼 漁民の信仰 筏

師の信仰 祭礼 屋敷神 三山参り

(3) 熊野信仰の周辺……………828

精霊船 滝への信仰

二 熊野比丘尼と絵解き……………829

(1) 熊野比丘尼……………829

熊野比丘尼 「熊野の絵」

(2) 間の山の伊勢比丘尼……………830

伊勢比丘尼 間の山

第三節 諸 信 仰……………840

一 県内寺社への地方巡礼……………840

(1) 観音信仰の地方巡礼……………840

大規模な地方観音巡礼 中規模な地方観音巡礼 小規模な地方観音巡礼……………841

(2) 弘法大師信仰の地方巡礼……………841

大規模な八十八ヶ所地方巡礼 中規模な八十八ヶ所地方巡礼 小規模な八十八ヶ所地方巡礼 二十一ヶ所地方巡礼……………844

(3) その他の地方巡礼……………844

地藏信仰の地方巡礼 その他の寺社巡礼・巡拝……………846

二 遠隔地信仰……………847

(1) 遠隔地の信仰対象……………847

県内に広く見られる信仰と対象 信仰対象と地域内への勧請 遠隔地参詣と代参 講集団……………847

第八章 口承文芸

第一節 伝 説……………877

一 神々の伝説……………877

(2) 遠隔地信仰の諸相……………848

稲荷信仰 秋葉信仰 愛宕信仰 金比羅信仰 大峯(山上)信仰 奥山半僧坊信仰……………848

三 神社整理と民俗の変容……………852

神社の整理 県内の神社整理研究 明治維新と神社政策 神社整理と地方改良運動 県の施策方針 神社整理の過程 県内郡市の合併の様相 神社合併の反響 神社の復祀 神社整理と民俗信仰・祭礼の変化……………852

四 船玉信仰……………859

船の製作工程と儀式 船玉 神体の品 場所と材質 船玉に関する風習 北勢・中勢地域の船玉信仰 伊勢・志摩地域の船玉信仰 東紀州地域の船玉信仰……………859

五 縁日と開帳……………864

(1) 縁 日……………864

県内の縁日 縁日の諸相……………864

(2) 開 帳……………865

居開帳と出開帳 県内の開帳……………865

〔特論〕青峯山信仰……………870

青峯山信仰 奉納絵馬に見る青峯山信仰の特色 奉納物から見た信仰の広がり 青峯山と海村のかかわり 今も生き続ける青峯山信仰……………870

(1) 記紀・風土記神話に登場する神々の伝説……………877

イザナキ・イザナミ アマテラス スサノオ(牛頭天王)と八王子 サルタヒコと興玉神 トヨタマヒメ  
神武天皇 アメノヒワケ イセツヒコ ヤマトヒメ

〔①雲出川流域 ②榑田川流域 ③宮川流域 ④五十鈴川流域 ⑤志摩地域 ⑥北勢・伊賀地域〕 ヤマトタケル 神功皇后

(2) 地域神の伝説……………887

多度神(一目連) 春日(鹿島)神

二 人物の伝説……………888

(1) 古代の人物……………888

徐福 ハヤブサワケとメトリ 聖徳太子 蘇我入鹿

藤原千方 大海人皇子(天武天皇) 役行者(役小角)

行基 聖武天皇 坂上田村麻呂〔①北中勢地域

②紀南地域〕 惟喬親王 弘法大師〔①恵み型 ②返礼型

③制裁型 ④隣の爺型 ⑤その他の伝説〕 依藤太(藤原秀郷)

元三大師(良源・慈恵大師) 和泉式部 鎌倉権五郎

景政

(2) 中世の人物……………903

伊勢平氏〔①平忠盛 ②平清盛 ③平重盛 ④平維盛 ⑤平六代 ⑥

平家の落人・落武者 ⑦平家関連伝説〕 源氏〔①源頼朝 ②源義

経・弁慶・静御前・伊勢三郎 ③源範頼〕 熊坂長範 朝比

奈三郎 北条時頼 道観長者 夢窓疎石 顕智上

人 一休 北畠氏 愛洲氏

(3) 近世の人物……………917

百地三太夫(丹波) 石川五右衛門 蒲生氏郷 徳

川千姫 阿漕平次 関の小万

第二節 民謡……………923

(1) 民謡の定義と分類……………923

民謡の定義 民謡の分類

(2) 県内の民謡……………923

労作歌〔①農耕に関するもの ②山樵に関するもの ③漁撈に関するもの

④諸職に関するもの ⑤交通運搬に関するもの〕 祭り歌・

祝い歌〔①祭りに関するもの ②祝儀に関するもの ③行事に関するもの〕

踊り歌・舞謡 座興歌 語り物・祝福芸の

歌〔①語り物 ②祝福芸の歌〕 子守歌 わらべ歌〔①遊戯

歌 ②唱えごと(古い・まじないなどのわらべ言葉) ③自然の歌(気

象天体・動植物・行事の歌など)〕

〔特論①〕伊勢音頭……………939

〔特論②〕全国に知られた三重の民謡……………941

桑名の殿様 鈴鹿馬子歌 尾鷲節 間の山節

〔特論③〕ヒョウタン節系地搦歌……………944

第三節 方言……………947

一 方言研究……………947

三重県の位置付け 記述的研究 言語地理学的研究

社会言語学的研究 三重県方言学会

二 三重県方言の特色……………952

伊勢平野 志摩地域 伊賀地域 東紀州地域

〔特論〕文学作品の中の三重県方言……………954

伊勢の浜荻 三重県の文学方言

〔人物コラム〕

① 桜井祐吉	75	② 鈴木敏雄	76
③ 原田敏明	233	④ 山田勘藏	355
⑤ 堀田吉雄	356	⑥ 井上頼寿	488
⑦ 平八州史	668	⑧ 岩田準一	773
⑨ 中 貞夫	774	⑩ 上村角兵衛	874

執筆者及び執筆担当箇所一覧  
 資料・写真提供及び協力機関(者) 一覧  
 あとがき

口絵写真目次

お白石持ち行事(伊勢神宮)		ゲーター祭(鳥羽市神島町)	
佐八の羯鼓踊(伊勢市佐八町)		御頭神事(伊勢市御園町高向)	
円座の羯鼓踊(伊勢市円座町)		志摩加茂五郷の盆祭行事(鳥羽市松尾町)	
鳥出神社の鯨船行事(四日市市富田)		安乗の人形芝居(志摩市阿見町安乗)	
猪名部神社の上げ馬神事(東員町北大社)		浅間祭(南伊勢町方座浦)	
多度大社の上げ馬神事(桑名市多度町)		イタノイオ(石持魚神事)(南伊勢町相賀浦)	
磯部の御神田(志摩市磯部町)		竈方祭(南伊勢町大方竈)	
志摩地域の海女漁		ヤーヤ祭り(尾鷲市)	
上野天神祭(伊賀市上野中心部)		ブリ大敷網漁(尾鷲市早田町)	
若子祭(名張市滝之原)		鈴鹿の墨	
正月堂修正会の大餅会式(伊賀市鳥ヶ原)		伊勢型紙	
ハラソ祭(尾鷲市梶賀町)		伊賀の組紐	
二本島祭(熊野市二本島町・二本島里町・甫母町)		伊賀焼	
サンマの丸干し(東紀州地域)			
丸山千枚田(熊野市紀和町)			
伊勢大神楽(桑名市太夫)			
ドンド(四日市市富田)			
石取祭(桑名市中心部)			
やぶねり(津市白塚町)			

(撮 影) 阪本博文  
 (レイアウト) 中村元美

挿入資料目次

(※「○」は写真、「譜」は楽譜を表す)

序 章

表 三重県行政・地域文化圏域一覧

第一章 三重の民俗調査・研究のあゆみ

図 「稲置川」と「楠部峠」(伊勢参宮名所図会)

○ 「蚕婦労働問題の研究」

○ 三重県女子師範学校作成の『郷土研究資料目録』

○ 郷土教育資料

表 『郷土研究』掲載の三重県関連報告

表 『民族』掲載の三重県関連報告

表 『民俗芸術』掲載の三重県関連報告

表 『民間伝承』掲載の三重県関連報告

○ 山村・海村調査の「採集手帖」

○ 『伊勢民俗』

○ 『三重民俗研究会会報』

表 大学等の研究グループによる民俗関連調査

○ 『民俗採訪』

表 民俗文化財の指定と調査報告書発行状況

○ 『熊野灘沿岸漁撈習俗調査報告書』

表 ふるさと文化再興事業 映像記録作成一覧

第二章 生活と生業

○ 塩水選

○ 畜力による田起こし

図 伊勢平野の田植期(昭和28年当時)

○ 網植え

○ 定木植え

○ 田植定木と綱

○ ガンゾメ

○ 虫送り

表 旧国別施用肥料

表 県内の養鯉状況

図 伊勢地方の女性の仕事着

○ 伊勢たくあん

○ 屋敷森(いなべ市藤原町)

○ 木曾三川と長島輪中

○ 中二階建ての民家

表 水屋の分類

○ 水屋

○ 水路をあふれさせて田に一気に灌水

○ パイプラインの敷設

○ 縦横に水路が形成されていた輪中内の絵図面

○ 輪中内の水路を進む舟

○ くね田

図 「くね田」模式図

○ タツケ

○ タツケ着用後ろ姿

図 伊賀の民家変遷模式図

○ 伊賀市新堂の中川家

○ 伊賀市倉部の森島家カゴ組

○ 苧織り

○ 畦掘り

図 「旧藩政旱害田畦堀及底張費補助方法書」

○ 田植え

○ 田打車

○ 糊干し作業(伊賀市倉部)

○ 野登山と麓の茶畑

○ 青蓮寺雲

○ 天神雲の北一寸

○ 伊賀地方の朝霧

○ 名張盆地の朝虹

○ 西山にかかる雲

表 県内の天気予知伝承

①晴天の天気予知伝承

②雨天(雪)の天気予知伝承

③風の天気予知伝承

④その他の天気予知伝承

表 特定日の天気予知伝承

表 地域的特色が顕著な天気予知伝承

図 片樋マンボ位置図

○ 片樋マンボ

表 いなべ市・鈴鹿市の主な集水型マンボの開削年

代

- マンボ掘削の道具
- マンボ掘削の様子
- マンボ祭り
- 小石丸の蚕児
- 縄網(畚)
- 給桑台の上に置かれた莚と蒭
- 屋根にベンチレーターのある員弁郡原蚕種製造所
- 上野公園石灯籠(伊賀市)
- 上野登寺護符
- 滝仙寺養蚕守護神(伊賀市瀧)
- 松阪市広瀬町の蚕種石
- はね網漁(三重県水産図解)
- 榎田川のヒブリ漁
- 鵜飼漁(三重県水産図解)
- 石蔵漁(三重県水産図解)
- 雲出川の石蔵漁(松阪市三雲町)
- モンドリ
- 大正期漁村調査による各地区の漁法と漁具・漁船・漁業者数
- 各地のハレの魚・掛け魚
- 二木島のコケラザし(熊野市)
- ホッカブリザし
- 在村青年男性の就業状況(鳥羽市国崎町)
- 海村の風にまつわる言語伝承
- 引本浦に集まるナマブネ(紀北町)
- ナマブネの主な買い回り先(昭和初期)
- 九木浦に停泊するコメブネ(尾鷲市)
- カケトリ姿の若者
- コメブネの主な商い先(昭和初期)
- 赤須賀船主奉納の社号標(紀北町 引本神社)
- 波切の石坂
- 波切の石段
- 大慈寺の石垣塀
- 波切石の採石地
- 波切港の石積み(アジロ積み)
- ゲンノウを使って石の成形
- 「国々湊くらべ」
- 埋立て前の佐田浜と縁期松
- 貸座敷渡世並遊女芸賦金改正(明治8年度会県布金)
- 山あいの集落(松阪市飯高町月出)
- 棚田の裏作模式図
- 山あいの水田(松阪市大石町)
- 炭焼き(多気町平谷)
- 鹿皮製の前掛け(多気町五桂)
- 特産品直売所(大台町 道の駅)
- 植林
- 枝打ち
- 伐採
- ツル
- 熊野地方の杉の伐採
- 樹皮を剥ぐ
- 木馬
- 牛による運材
- 修羅
- 末口径による材積計算
- 筏師
- 杓子の柄作り
- 木屋方集落の門松(大紀町崎古和河内)
- 惟喬親王会式の祭壇(松阪市飯高町宮前)
- 山の神注連縄作り(大紀町崎古和河内)
- マグロをイタダキで運ぶ女性(三重県水産図解)
- イタダキによる木材運搬
- 海女のイタダキ
- 今も行われるイタダキとワ
- シバマキを吸う老女
- ヤエンによる木材搬出
- 「紀州尾鷲地方森林施業法」で紹介されたヤエン
- 「関の追分」と「桑名渡口」(伊勢参宮名所図会)
- 松阪木綿流通過程模式図
- 桶職人
- 『幼年職工進給表』
- 聖徳太子像の掛け軸と正月のお供え
- 神館神社内に祀られた山の神(津市半田)
- 鍛冶職人が信仰する荒神の掛け軸
- 三八市(桑名市寺町)
- 一之瀬・中島調査による北勢地域の定期市
- 多度市(桑名市)
- 愛宕市(松阪市)
- 中万市(松阪市)
- 自転車による魚の行商(津市白塚町)

目次



- 鮮魚を鉄道で運ぶ坂手の女性
- サルハジキ
- 塩崎神社に供えられた鏡餅（四日市市磯津地区）
- 墨を塗られた厄男（志摩市大王町船越）
- 「寿文庫」への寄付を呼び掛ける貼紙（尾鷲市）
- 神島の年祝い（鳥羽市）
- 米寿の手形（名張市黒田）
- 米寿の杓文字とマスカケ（名張市黒田）
- 湯尾峠の御守札
- 親族の女性が先導する葬列（四日市市千代田町）
- 火葬・土葬・納骨堂数の推移
- 火葬（多気町五桂）
- 神宮神職の宗門改
- 表 家格による宗門改
- 表 秋津教会（大紀町）
- 表 墓地の機能による分類
- 図 墓地タイプ（A型）の分布
- 図 墓地タイプ（B型）の分布
- 図 ヤキバ（桑名市長島町西川）
- 集合墓地内の火葬炉（いなべ市藤原町下野尻）
- 集合墓地内の火葬場（いなべ市北勢町東貝野）
- 石塔墓地に併設された火葬炉（桑名市長島町千倉）
- 津市白山町八対野の埋葬墓地
- 津市一志町石橋の埋葬墓地
- 埋葬墓地の墓上設置物（松阪市美濃田）
- 津市美杉町丹生俣の埋葬墓地
- 明和町浜田の埋葬墓地
- 伊勢市佐八町の埋葬墓地
- 度会町小川の寺隣接墓地
- 度会町火打石の埋葬墓地
- 南伊勢町伊勢路の墓地
- 南伊勢町相賀浦の墓地
- 竹や小木で作った垣（南伊勢町飯満）
- 屋根型の墓上設置物（南伊勢町迫間浦）
- 花籠（南伊勢町神津佐）
- 鳥羽市菅島町の墓地
- 鳥羽市河内町の墓地
- 鳥羽市松尾町の墓地
- 志摩市阿児町国府の墓地
- 図 区画の中の石塔の位置
- 志摩市磯部町恵利原の墓地
- 鳥羽市相差町の墓地
- 伊賀市上林の墓地
- 伊賀市音羽の墓地
- 伊賀市川西の墓地
- 7本の竹を円錐状に組んだ墓上設置物（伊賀市下  
栢植中出）
- 伊賀市東高倉の埋葬墓地
- 名張市滝之原中出の埋葬墓地
- 伊賀市下友田の埋葬墓地
- 名張市夏見の埋葬墓地（福典寺）
- ヒラジマ（熊野市五郷町湯谷）
- 屋根型の墓上設置物（紀北町紀伊長島区東長島片上）
- 第三章 人の一生
- 白子山観音寺（鈴鹿市寺家）
- 産の方角とエナを埋める方角を占う
- オビヤバシラ（熊野市神川町）
- エナツボ
- 乳授け地藏（桑名市多度町）
- 命名式（津市美杉町）
- 初宮参り
- 食初め（津市美杉町）
- ハシカ送り（伊勢市津村町）
- 夜泣き石
- カリヤ餅（ネネノ餅）
- 初誕生の祝い（伊賀市）
- ヨサ
- 海女の子育て
- ① 『三重県水産図解』の「蚤婦焚火ニ体ヲ温タメ  
休足ノ図」
- ② 母乳を与える海女（鳥羽市石鏡町）
- 図 コプト・コブチ
- 表 婚姻類型
- 図 婚家でのカシホリ（桑名市多度町）
- 図 多度町下野代（桑名市）の披露宴
- 旧村役場（豊地結婚式場）で行われた結婚式  
（松阪市嬉野堀之内町）
- マチジョロウ（四日市市中村町）
- 初午の岡寺参り（松阪市中町）
- 第四章 年中行事
- 氏神への初参り（桑名市多度町戸津）
- 積み上げられたドンド（四日市市東富田町）

- 馬の砂かけ行事 (鈴鹿市甲斐町)
- 神戸の寝釈迦 (鈴鹿市神戸)
- 花飾りをした象の練り (亀山市加太地区)
- 福王神社の春祭り (菰野町)
- 虫送り (四日市市八王子町)
- 虫送り (イモチ) (桑名市多度町大鳥居)
- 地藏盆 (いなべ市大安町片樋)
- 亥の子 (四日市市千代田町)
- 真宗寺院でのお汁講 (四日市市西日野町)
- 各家でのお七夜 (菰野町竹成)
- 伊勢エビを飾る注連縄 (南伊勢町方座浦)
- 合神の棚飾り (南伊勢町船越)
- 古和浦の山の神祭 (南伊勢町)
- 古和浦の十日頭 (南伊勢町)
- 射礼 (南伊勢町船越)
- 箕獅子舞 (伊勢市二見町西)
- 宿浦のオイヤレ (南伊勢町)
- 神前浦の天王祭 (南伊勢町)
- 寺に並べられた初盆祭壇 (度会町麻加江)
- ムラ人から念仏をもらう初盆家族 (南伊勢町道方)
- 有滝町のかんこ踊り (伊勢市)
- 斎田の山の神祭 (南伊勢町)
- ヤリマシヨ舟 (鳥羽市神島町)
- 三合松 (鳥羽市石鏡町)
- 鳥羽地域の注連縄
- 海藻を使用した大戸口の注連縄 (鳥羽市菅島町)
- 張り重ねられた注連縄 (鳥羽市松尾町)
- 門松とサシフダ (鳥羽市菅島町)
- メタクラバシを付けた門松 (鳥羽市国崎町)
- 志摩・南勢地域のアラクサ
- 変わったアラクサ
- 伊勢エビ (志摩市志摩町御座)
- 下クサハギ (志摩市志摩町和具)
- 御棚神事 (志摩市阿見町安乗)
- 翁三番叟 (志摩市阿見町安乗)
- 海藻を使った七草たたき (鳥羽市国崎町)
- 弓引き神事 (志摩市志摩町越賀)
- 獅子舞 (鳥羽市相差町)
- シメハヤシ (志摩市阿見町安乗)
- 志摩郡鳥羽町堅神のネビ
- ノット正月 (鳥羽市国崎町)
- 志摩郡鳥羽町堅神の「卯月八日」貼札
- 総垢離 (志摩市阿見町志島)
- 棒練り (鳥羽市坂手町)
- 高灯籠 (志摩市阿見町立神)
- 大念仏の踊り (ささら踊り) (志摩市阿見町立神)
- 海岸での送り火 (志摩市志摩町片田)
- ツゴモ送り (鳥羽市浦村町)
- 稚児によるわらじ曳き (志摩市大王町波切)
- スナマキ (伊賀市白檜)
- フクマル呼び (伊賀市白檜)
- 『中村家正月規式目録』
- 中村家の拌み膳 (伊賀市古山界外)
- カギヒキ (伊賀市広瀬)
- ドンド (名張市西原町)
- 勸請縄 (伊賀市長田)
- 正月堂の修正会 (伊賀市鳥ヶ原)
- 宮行饗のシユウシ (伊賀市横山)
- 虫送り (伊賀市諏訪)
- 地藏盆 (伊賀市木興町)
- 亥の子 (名張市結馬)
- カケノウオ (紀北町紀伊長島区長島)
- 各地の注連縄
- ①紀北町紀伊長島区長島
- ②紀北町海山区白浦
- ③尾鷲市九鬼町 (注連縄と神棚飾り)
- ④尾鷲市九鬼町 (漁船のお飾り)
- 船だんじり (長島神社例大祭) (紀北町紀伊長島区)
- 精霊棚 (御浜町阿田和)
- 精霊棚 (熊野市飛鳥町)
- 幕前に供えられた串団子 (紀北町紀伊長島区鳥原字中桐)
- 棚経 (紀北町紀伊長島区鳥原)
- 施餓鬼旗 (紀北町海山区白浦)
- 盆踊り会場に集められた切り灯籠とムラの精霊棚 (紀北町紀伊長島区長島)
- 精霊送り (熊野市大泊町)
- 熊野市二木島町のヒヤクハツタイ
- 尾鷲市賀田町のヒヤクハツタイ

第五章 祭り・行事と芸能

表 『三重県下の特殊神事』(昭和13年)掲載の弓射行事

○ 三多気の弓射行事 (津市美杉町)	表 「祇園祭」名で祭礼を行う神社数	○ 切原の浅間神社 (南伊勢町)
○ 船越の的場 (南伊勢町)	表 「天王祭」名で祭礼を行う神社数	○ 浅間講の垢離取り (南伊勢町阿曾浦)
○ 椎の葉でたたかれる八幡さん (南伊勢町阿曾浦)	○ ムラ境津島神社札 (伊勢市矢持町)	○ 浅間山へ奉納される大幣 (南伊勢町方座浦)
○ 墨を盛り上げて作る的 (鳥羽市答志町和具)	○ くつわ菓子角政 (愛知県津島市)	○ 念珠を首に掛ける講員 (松阪市下七見町)
○ 桃取町の弓射行事 (鳥羽市)	○ 渡鹿野の天王祭り (志摩市磯部町)	○ 富士塚の上で歌い踊る (伊勢市東豊浜町土路)
○ 菅島町の弓射行事 (鳥羽市)	○ 石取祭	○ 神社合祀で一か所に集められた山の神 (名張市新田 美波多神社)
○ 矢を射る八幡さん (鳥羽市国崎町)	図 「久波奈名所図会」の「石取神事灯物図」	○ カギ (名張市上長瀬)
○ 引本浦の弓射行事 (紀北町)	図 司馬江漢『画図西遊譚』挿図	○ フクダワラ (名張市箕曲中村)
○ 三木里町の弓射行事 (尾鷲市)	表 四日市祭における各町内のだしもの推移	○ フクダワラが付けられたカギ (名張市上長瀬)
○ 岡八幡宮の的中的木 (伊賀市白檜)	○ 大四日市まつり	○ 宵カギ引き (名張市瀬古口 稲荷神社)
○ 富永の射場 (伊賀市)	○ 勝速日神社祭礼屋台	○ 注連縄に掛けられたカギ (名張市青蓮寺 国津神社)
○ 滝之原の若子祭弓射 (名張市)	○ 津まつり	○ 「百姓道具一式奉納」と書かれた板木 (名張市長瀬)
○ 椿大神社の獅子神楽 (鈴鹿市)	○ 関の山車	○ 表 祇園花の種類
○ 郡市別獅子舞行事数	○ 楼車の練り (上野天神祭)	○ 表 伊賀地域の祇園花行事一覧
○ 伊奈富神社の獅子神楽 (鈴鹿市)	○ 鬼行列 (上野天神祭)	○ 図 祇園花種類の分布
○ 三寺の獅子舞 (龟山市)	○ ヤーヤ祭り	○ 各地の祇園花と類型
図 伊奈富神社・椿大神社の獅子舞回壇地	○ 当屋の家 (ヤーヤ祭)	○ ① 伊賀市川東 (A1型)
表 南勢地方の獅子舞行事	○ 当屋の家に飾られた巻藁 (ヤーヤ祭)	○ ② 伊賀市上阿波 (A2型)
○ 箕曲中松原神社の御頭神事 (伊勢市)	○ 薙刀振 (ヤーヤ祭)	○ ③ 伊賀市岩倉 (A3型)
○ 度会町南中村の常当屋で舞う獅子	表 県内の雨乞い事例	○ ④ 伊賀市北山 (A2+C型)
○ 高向の御頭神事 (伊勢市御園町)	○ 雨壺 (龟山市 野登寺)	○ ⑤ 名張市滝之原 (B1型)
○ 敢国神社の獅子舞 (伊賀市)	○ 浅間さんのボンテン (南伊勢町古和浦)	○ 四日市市松寺町の石取祭
表 敢国神社の獅子舞の様相	○ 浅間大菩薩の掛け軸 (南伊勢町阿曾浦)	○ 桑名市多度町七取6地区の祭車練り
○ 春日神社の獅子舞 (名張市蔵持町)	○ 白浦の浅間さん (紀北町)	○ ハナを飾る祭車 (桑名市多度町上之郷)
○ 田守神社の獅子舞 (伊賀市蔵繩手)	○ 鳥勝浦の浅間さん (紀北町)	○ 虫送り行事に登場する石取祭車 (四日市市八王子町)
表 スサノオ神奉斎社及び祭神奉斎状況	○ 磯浦の浅間さん (南伊勢町)	
表 県内スサノオ神奉祀神社数	○ 上ノ庄の浅間さん (松阪市)	
表 スサノオ神奉斎神社名表記	○ 『浅間講中入用帳』 (南伊勢町槿柄浦)	

- 四日市市茂福町の石取祭車
- 二木島のトウニン (熊野市)
- 棚に祀られた「トウヤの箱」(南伊勢町相賀浦)
- 袴屋宅前に設けられたオワケサン (伊勢市御園町高向)
- 巻藁 (伊勢市二見町松下)
- 表 伊賀のトウヤ祭祀一覧
- 旧木生神社例祭の座拜 (伊賀市西山)
- 宇流富志祢神社秋祭の頭屋行列 (名張市平尾)
- 八幡神社若子祭の祝座 (名張市滝之原)
- 凶 恵日山観音寺の鬼押さえ (伊勢参宮名所図会)
- 千本杵の餅つき
- セクモリ
- 練り込み
- 大餅の設置
- 名張市鷯山のオコナイ (ナリバナ)
- 本殿へ供えられた鏡餅 (四日市市生桑町 生桑長松神社)
- 漁の安全と豊漁を祈る海女 (カズキオリ) (鳥羽市石鏡町)
- 幣を立てる (ゴクアゲ) (鳥羽市神島町)
- 船上から洗米をまく海女 (ゴクアゲ) (鳥羽市神島町)
- 互いに海水を掛け合う漁船 (潮かけ祭) (志摩市志摩町和具)
- 小島祭 (志摩市志摩町布施田)
- しろんご祭 (鳥羽市菅島町)
- 二木島祭 (熊野市二木島町・二木島里町・甫母町)
- 関船の装備
- 二船祭 (鳥羽市国崎町)
- 伊雑宮の御神田 (早乙女による田植え)
- 太鼓打ちの衣装
- 苗代を回る早乙女と田道人
- 竹取神事
- 野川で泥を洗う
- 竹や団扇の小片をもらいに集まる人々
- 『杼樟青年会記録』
- 踊込み (猿田彦神社)
- ホコリ (大土御祖神社)
- 船漕 (大土御祖神社)
- 踏舞 (縄を綯う) (猿田彦神社)
- どう舞 (俵を蔵へ納める) (大土御祖神社)
- 秘曲 (猿田彦神社)
- 神宮神田の御田植祭
- 猿田彦神社の御田植祭
- 表 遷宮祭実施回答一覧
- 凶 定期的遷宮祭実施比率による分布状況
- 香良洲神社遷宮 (津市)
- 神前神社遷宮 (四日市市)
- 遷宮後の神戸神社 (伊賀市)
- 鯨船行事 (四日市市富田地区)
- 船首を上げる鯨船山車 (鈴鹿市北長太地区)
- 両手を広げて立つオドリコ (四日市市磯津地区)
- ハラソ祭 (尾鷲市梶賀町)
- 大白祭 (紀北町海山区白浦)
- 捕鯨の様子を彷彿させる大白祭 (紀北町海山区白浦)
- 浦
- 腹子持鯨菩提之塔 (紀北町海山区白浦)
- 牛魂碑 (大紀町野原)
- 鯨形祭 (鳥羽市岩倉町)
- 夜夫多神社の馬の砂かけ (鈴鹿市甲斐町)
- 多度大社の上げ馬神事
- 猪名部神社の上げ馬神事
- 水の曲 (伊勢大神楽)
- 吉野舞 (伊勢大神楽)
- 玉獅子の曲 (伊勢大神楽)
- 魁曲 (伊勢大神楽)
- 獅子に頭をかんでもらう子ども (滋賀県草津市新浜町)
- 伊勢市佐八の羯鼓踊 (大踊り)
- 伊賀市山畑の神事踊
- 三重県のかんこ踊り
- 表 三重県のかんこ踊り
- 南伊勢町道方のかんこ踊
- 明和町有爾中の天王踊り
- 鳥羽市松尾町の大念仏
- 凶 山畑神事踊の位置取り
- 菰野町杉谷の嘉例踊り
- 津市香良洲町の宮踊り (小松区)
- 津市芸濃町雲林院のかんこ踊り
- 松阪市狛師町のかんこ踊り
- つんつくおどり (四日市市日本)
- 「盆踊廃止するに及ばず」(三重県民) 3-8
- 農村娯楽として再興の動き (伊勢新聞) 大正13・8・23夕刊)

○ 平尾井の盆踊り(紀宝町)	○ 親取り子取り(鳥羽市松尾町)	○ 第三支部
図 お座敷で踊られる伊勢音頭(伊勢参宮名所図会)	○ 隠居家が建つ国府の屋敷(志摩市阿見町)	○ 答志のネヤコ
○ 伊勢音頭PRの絵葉書	○ ムラの会所(伊勢市中村町)	① 昭和45年当時
○ ラジオによる伊勢音頭宣伝(伊勢新聞)昭和9・3・3)	図 近世四日市町の町割略図	② 平成18年当時
○ 伊勢音頭紙上講座(伊勢新聞)昭和10・8・3)	○ 山の神行事をする子どもたち(多気町平谷)	○ 盆行事(鳥羽市松尾町)
○ 芝居衣裳 火事羽織(忠臣蔵所用)	○ 亥の子行事をする子どもたち(四日市市中村町)	○ 笹念仏(鳥羽市国崎町)
○ 芝居台帳『仮名手本忠臣蔵』	○ 芝居台帳	図 文献から読み取れる国崎の年齢階梯概念図
表 千束屋歌舞伎台帳記載の貸出し先	○ 『若者宝物帳』	表 高橋泉による比較調査項目一覧
図 千束屋歌舞伎資料貸出し先分布図	○ 若者連中の取締りを求める建言書	図 神島の生業暦及び年中行事
○ 神島町の舞台(大漁座)(鳥羽市)	○ 畔名村処女会実行事項	① 昭和15年当時
○ 石鏡町の歌舞伎(鳥羽市)	○ 『石女子祭神事次第』	② 平成3年当時
○ 河内町の演芸会(鳥羽市)	表 中老・年寄組の呼称	図 神島の空間領域模式図
○ 答志町の歌舞伎(鳥羽市)	図 石鏡の年寄組	① 昭和15年当時
○ 一色能(伊勢市)	○ 伊勢市西豊浜町の集会所と表札	② 平成3年当時
○ 賀多神社の薪能(鳥羽市)	表 集会所の呼称についての聞き書き調査一覧	○ ステージで演じられた箕獅子舞
○ 馬瀬の狂言(伊勢市)	○ 御浜町下市木の集会所看板	○ 丸山千枚田(熊野市紀和町)
第六章 社 会	○ 伊勢市内の奉曳団分布	○ 丸山千枚田条例の案内看板
図 年齢3区分人口の推移	図 上野台地の「坂」	○ 田植への集い
○ 世帯人員(一般世帯当たり)の増減傾向(昭和55年と平成12年)	○ 伊賀市長田の勧請縄	○ ワーキングホリデーの活動をする三重大学生
○ 核家族世帯数の増減傾向(昭和55年と平成12年)	○ 名張市上三谷の勧請縄	表 主要な町並み調査の一覧
○ 高齢単身世帯数の増減傾向(昭和55年と平成12年)	図 かつての御頭神事関係図	○ 関宿(亀山市)
表 「イエと親族」を扱った文献目次構成・執筆者一覧	○ 荷坂峠	○ 河崎(伊勢市)
	○ ジンカン舟(鳥羽市菅島町)	○ 内宮おほらい町(伊勢市)
	○ 寝宿慣行が遅くまで残った志摩の離島(坂手島・答志島)	○ 二見(伊勢市)
	○ 神島村青年団支部(鳥羽市神島町)	○ 殿町(松阪市)
	① 第一支部	○ 伊賀城下町(伊賀市)
	② 第二支部	図 三重県教育委員会における職員配置数の推移
		図 予算の推移(重点施策)

重点文化財予算と民俗関係予算の推移  
民俗関係の予算内訳一覧

民俗の文化財指定数の推移  
民俗関係出版物の推移

### 第七章 伊勢・熊野信仰と諸信仰

「御祓大麻」と「神宮大麻」  
神宮大麻頒布の組織変遷

第8大区5ノ小区(旧三重県)における大麻頒布状況

神宮大麻略年表

「昭和四年一月新調 旧且所御祓大麻發送先覚」

埼玉・茨城への大麻送付数

トウヤ宅の藻塩草と塩水(伊勢市御園町高向)

赤崎神社の「御神杉」(鳥羽市内)

内宮の子安神社

月夜見宮の稲荷(伊勢市宮後町)

札幌(伊勢市御園町高向)

大村神社秋祭の餅つき(大當講)(伊賀市阿保)

奉曳団分布一覧

陸曳きの奉曳車

川曳き

県内「お木曳き」「白石持ち」実施神社一覧

長島神社のお木曳き(紀北町紀伊長島区長島)

「熊野三山とその信仰」による県内熊野社一覧

社名に「熊野」を含む神社が存在した村

石上寺境内の熊野大権現(亀山市和田町)

石上寺熊野祭の火渡り

王子の島(熊野市波田須町)

「新板伊勢参宮巡双六」

図表 県内に残る「熊野の絵」

熊野観心十界曼荼羅 定型本甲系統(平楽寺本)

熊野観心十界曼荼羅 定型本乙系統(西念寺本)

那智参詣曼荼羅(西光寺本)

浄土双六(若林家本)

表 『伊勢山田領町方社録』に見る「山田順礼卅三所」

大師堂の三十三所巡り(津市安濃町草生)

泉福寺の弘法大師供養塔(紀北町紀伊長島区島原字中桐)

図 『伊勢新四国八十八箇所 道しるべ』で紹介された巡礼ルート

「新四国八十八箇所石仏寄進帳」

常福寺裏山の石仏(伊賀市古郡)

表 『伊勢山田領町方社録』に見る「大師廿一ヶ所」

伊勢神宮末社巡り(伊勢参宮名所図会)

表 社格別神社・神職数の推移

図 社格別合祀前後神社変動数

表 郡市別神社残存指数

南伊勢町贄浦の船玉

伊勢地方の商店に置かれていた船玉

船玉の中身の品々

図 サイコロの目の入れ方(船玉)

船玉入れ(鳥羽市浦村町)

① サツパ船の船梁に開けられた船玉を封じ込める

穴

② 船玉の品を入れる棟梁

③ 船玉が入った後の船梁

表 県内の船玉信仰事例

○ 正福寺の御船祭(鳥羽市松尾町)

表 県内の「開帳」事例

○ 青峯山正福寺(鳥羽市松尾町)

○ 護摩札

○ 大坂樽廻船問屋が奉納した永代常夜灯

○ 海難絵馬(明治14年作 知多郡佐久村 勢就丸)

図 青峯山信仰信者分布

○ 磯部の海上から望む青峯山

○ 青峯山の御守を身に着けた石鏡の海女

### 第八章 口承文芸

○ お網かけ神事(熊野市有馬町)

○ 天の岩戸(志摩市磯部町恵利原)

○ 磔石(松阪市飯高町赤植)

図 蘇民将来伝説(伊勢参宮名所図会)

図 猿田彦森(伊勢参宮名所図会)

○ 猿田彦石(伊勢市二見町江)

○ 矢取島(志摩市浜島町浜島)

○ 観音寺(四日市市六呂見)

○ 一目連神社(桑名市多度町多度)

○ 大村神社に祀られた要石(伊賀市阿保)

○ 徐福神社(熊野市波田須町)

○ 蘇我入鹿の首塚(松阪市飯高町舟戸)



○ 糠塚山 (四日市市羽津)	譜	ねんねころいち (伊賀市種生)
○ 九品寺 (菰野町田光)	譜	あぶくたつた (尾鷲市立宮之上小学校)
○ 鏡ヶ池 (四日市市蒔田町)	譜	ぞうりけんじよ (伊賀市岩倉)
○ 鬼ヶ城 (熊野市木本町)	譜	おさらい (伊賀市上野支蕃町)
○ 大皇神社 (大紀町崎)	譜	花いちもんめ (津市立大里小学校)
○ 比自岐の夕部柿 (伊賀市)	譜	ひとめふため (松阪市上川町高田)
○ 行円寺のすらすらの硯 (四日市市中野町)	譜	笠田のやつこ (いなべ市員弁町)
○ 平氏発祥伝説地 (津市産品)	譜	ほたろ来い (松阪市鎌田町)
○ 六代の墓 (松阪市嬉野森本町)	○	伊勢音頭の錦絵
○ 景清の屋敷跡 (桑名市志知)	譜	正調伊勢音頭
○ 有王塚 (桑名市矢田)	譜	道中伊勢音頭 (祝い歌)
○ 伊勢三郎の硯石 (伊勢市二見町三津)	○	伊勢参宮の様子
○ 西明寺 (鳥羽市畔蛸町)	○	「七里の渡し」渡船場があった川口港 (桑名市)
○ 関の小万の墓 (亀山市関町木崎 福蔵寺)	○	関宿の馬子
○ 田草取歌 (田河芸郡地方)	図	「間の山」のお杉とお玉 (伊勢参宮名所図会)
○ 田草取歌 (熊野市神川町)	○	現在の間の山 (伊勢市)
○ 田植歌 (熊野市神川町)	譜	一志町大仰 (津市) の地搦歌
○ 木挽歌 (県内各地)	譜	一志町井関 (津市) の地搦歌
○ 紙すき歌 (名張市赤目町)	表	三重県方言の記述的研究文献一覧
○ あうち權 (いなべ市大安町南金井)	表	「跡が」のアクセントの世代間調査 (名古屋市—伊勢市間)
○ 津市片田の地搦きと音頭取り	表	『三重県方言』の各号特集一覧
○ たたら歌 (いなべ市大安町南金井)	図	「明後日」の次の日の呼称
○ 筏節 (熊野市神川町)	○	伊勢の浜萩
○ お木曳歌 (鳥羽市答志町)	○	神島の灯台 (鳥羽市)
○ 式入踊 (庭鎮の一節)	○	『青麦』
○ 御宮踊 (頭出し)		
○ 御宮踊 (本歌)		
○ ねんねころいち (亀山市関町)		

人物コラム

- ① 桜井祐吉 (肖像)
- ② 鈴木敏雄 (肖像)
- ③ 原田敏明 (原田と桜井勝之進)
- ④ 山田勘蔵 (肖像)
- ⑤ 堀田吉雄 (肖像)
- ⑥ 井上頼寿 (京都府立第二中学校教員時代)
- ⑦ 平八州史 (調査風景)
- ⑧ 岩田準一 (肖像)
- ⑨ 中 貞夫 (肖像)
- ⑩ 上村角兵衛 (肖像)